★第3期国民健康保険データヘルス計画進捗状況（R7事業実績）

【評価】a：改善している　b:変わらない　c:悪化している　d:評価困難

資料１－２

項目	目標	評価指標	計画策定時 R5 (2023)	目標 R11 (2029)	番号	事業名	【参考】R6※ 目標	実績	評価	R7対応する保健事業 実施内容（◎新規、◇拡充）	アウトプット
A・B	糖尿病の発症予防	★高血糖者の割合（HbA1c6.5%以上の者の割合）	9.5%	9.2%以下	3	糖尿病性腎症重症化予防	減少	10.1%	c	○糖尿病の治療中断者に対する受診勧奨 【対象者】糖尿病治療歴があり直近１年間に受診歴のない者 【内容】　専門職が電話や訪問による医療機関への受診勧奨を実施 ○医療機関と連携した保健指導 【対象者】滋賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに準じ、前年度特定健診受診者より抽出 【内容】治療中のハイリスク者に対し、かかりつけ医と連携しながら、専門職による６か月間の保健指導を実施	・医療機関受診勧奨　9人 （うち医療機関受診３人　特定健診受診１人） ・保健指導利用率　30.8% （対象者13人、保健指導実施者4人）
		★HbA1c6.5%以上の者のうち、糖尿病のレセプトがない者の割合	10.6%	10.0%以下			―	18.6%	c		
	糖尿病の重症化予防	★HbA1c8.0%以上の者の割合	1.0%	1.0%以下	4	ハイリスク者に対する医療機関受診勧奨事業	維持	0.9%	a	【対象者】特定健診結果の要医療者の内ハイリスク者 【内容】・対象者のうち、受診確認のできない者に再度受診勧奨通知を送付。 ・再勧奨後も医療機関受診の確認できない者で優先順位の高い者に対し、専門職から電話勧奨を実施し、受診しない理由等の聞き取りを行った。	・受診勧奨通知数（再勧奨）：128人
C	医療機関受診勧奨判定値以上の者を医療機関につなぐ	医療機関受診勧奨判定値以上のハイリスク者の医療機関受診率	80.5%	85%以上	5	高血圧対策事業	82%	80.5%	b	【対象者】４０歳以上の被保険者で特定健診受診者 【内容】・健診結果でⅡ度高血圧以上で医療機関の受診のない者に対して電話・訪問にて受診勧奨を実施 ・集団健診にて尿ナトカリ比の測定を実施 ・集団健診時に血圧要医療者（Ⅰ度高血圧以上）に保健指導を実施し、実施した方には案内を送付し結果説明会を実施。 ・血圧で要指導判定値以上の方を対象に、グループ支援を信楽保健センターで実施	・Ⅱ度高血圧以上の未受診者 受診勧奨実施数：電話47件、訪問5件 （集計途中） ・集団健診での保健指導実施数（Ⅰ度高血圧以上）：62人 ・グループ支援（血圧） 実施回数・参加者数：２回・7人
	血圧160／100mmHｇ以上の者の減少	血圧160／100mmHｇ以上の者の割合	6.7%	減少			減少	8.2%	c		
D	特定健康診査受診率の向上	★特定健康診査受診率	45.6%	60%	1	特定健診受診率向上事業	50%	44.4%	c	○被保険者の特性に応じた未受診者勧奨 【対象者】４０～７４歳の被保険者 【内容】未受診者対策として、特性に応じた受診勧奨通知を年２回送付するとともに、専門職による電話での受診勧奨を実施した。 ◇特定健康診査動機付け事業（スマホdeドック） 【対象者】３５～３９歳の被保険者 【内容】セルフ健康チェックを実施。R7より実施者のうち要指導の方を対象に医師による健康相談サービスを追加 ○人間ドック・脳ドック受診費用補助 ◎YouTubeでの動画広告を１ヶ月間実施 ◎協会けんぽとの集団健診合同実施体制の整備	・勧奨通知回数：2回実施 延べ13,066件 ・勧奨電話件数：115件（７回実施）
		★40歳代健診受診率	23.4%	25%以上			24%	23.2%	c		
		★３年連続未受診者割合	37.5%	35%以下			35%以下	37.3%	a（未到達）		
		★特定健診未受診者かつ医療機関受診なしの者の割合	39.1%	35%以下			38%	39.4%	c		
	がん検診の受診率向上	がん検診受診率（胃がん）	4.2%（R3）	5.0%	6	がん検診受診率向上事業	4.5%	5.2%（R5）	a	【対象者】４０歳以上の市民（子宮頸がんは、２０歳以上の市民） 【内容】・受診しやすいがん検診の体制整備：日程や会場に様々なパターンを設け、電話とWebによる予約を実施 ・特定健康診査等との同時実施：協会けんぽとの合同での集団検診を実施 ・個別検診の拡大 ・受診勧奨：集団がん検診申込開始時期に合わせ、個別勧奨通知を送付。 その他、市広報誌やちらし配布、YouTube動画広告での啓発を実施	・対象者への個別通知：延べ33,062件 ・集団検診のWEB予約率：73%
		がん検診受診率（大腸がん）	3.9%（R3）	8.6%			5.5%	3.6%（R5）	c		
		がん検診受診率（肺がん）	2.9%（R3）	5.8%			4.0%	2.8%（R5）	c		
E	特定保健指導実施率の向上	★特定保健指導実施率	27.0%	35.0%	2	特定保健指導実施率向上事業	29.0%	26.8%	c	【対象者】動機付け支援対象者、積極的支援対象者 【内容】・委託業者から複数回電話勧奨を行い、連絡がとれなかった者に対しては、市の専門職による再勧奨を実施。 ◇実施率の低い40、50代に指導を受けていただけるようWebによる保健指導を実施。あわせて、指導を受けられた方へのインセンティブ（ポイントの贈与等）付与により指導の継続を図った。 ・積極的支援については、委託業者及び市専門職からの勧奨に併せ、保健センターの保健師が訪問等による利用勧奨を実施し、動機付け支援については、信楽地域での結果説明会とあわせたグループ支援を実施	・専門職による未利用勧奨件数： 委託業者 246件、 保険年金課・保健センター 101件 ・グループ支援実施回数・参加人数： ２回、4人
		★特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	20.3%	26%以上			22.0%	20.0%	c		
		★血圧が保健指導判定値以上の者の割合	53.2%	44%以下			―	56.2%	c		
	メタボリック該当者・予備群の割合の低下	メタボリック該当者・予備群の割合（男性）	52.7%	43%以下			50.0%	52.2%	a（未到達）		
		メタボリック該当者・予備群の割合（女性）	16.9%	14.5%以下	7	生活習慣の改善支援事業	16.3%	17.4%	c	【対象者】４０～７４歳の被保険者 【内容】・特定健診受診者から抽出したメタボリック症候群該当者、予備群を対象に、運動指導士による運動教室を実施 ◇血圧や体組成等の測定等を行う健康づくり教室を人権フェスタと商工会と連携し商業施設で実施 ・運動習慣のある者を増やすため、健康ウォーキングアプリ「BIWA-TEKU」の利用促進を図った。	・運動教室 実施回数・参加者数：3回、13人 ・健康づくり教室： 実施回数・参加者数：２回、30人 （国保加入者） ・「BIWA-TEKU」登録者数：951人
	運動習慣のある者の割合の増加	運動習慣のある者の割合	38.4%	44%以上			40.0%	39.1%	a（未到達）		
	５０歳以上７４歳以下における咀嚼良好者の割合の増加	５０歳以上７４歳以下における咀嚼良好者の割合	74.8%	80%以上	8	歯・口腔の健康づくり事業	76.0%	75.5%	a（未到達）	【対象者】３０～７０歳の市民で歯の治療中でない者 【内容】・歯科検診、パノラマレントゲン撮影、歯科相談の歯周疾患検診を実施した。あわせて、30歳になられた市民への個別通知等により受診勧奨を実施し、受診率向上に努めた。 ・集団健診時及び特定保健指導実施時に歯、口腔の健康についてもあわせて啓発を行った。	・歯周疾患検診の受診勧奨：1739件

★印は、滋賀県・市町国保の共通目標

※R7年度実績数値は未確定のため

中長期目標	新規透析導入患者数の減少	新規透析導入患者数	17人	減少
	心疾患による死亡者の減少	標準化死亡比（EBSMR）を100に近づける	男性 106.4	100
			女性 125.3	100
	脳血管疾患による介護保険認定2号被保険者数の減少	脳血管疾患による介護保険認定2号被保険者数（割合）	33人（47.8%）	減少

中長期目標	28人	c
	男性 106.7	c
	女性 124.4	a（未到達）
	25人（37.9%）	a